

【プログラム3:あったか家族川柳 ～言葉に込められた思い～】

☆ねらい：川柳に込められたことばを考えることによって、親子関係や家族のあり方を見つめようとする気持ちを高める。

キーワードの例	家族のかかわり
時 間	5分
人 数	何人でもできる。
活動形態	全体
準備物	補助シート
主な活動	①子育て川柳や三行詩の一部分を考える。 ②振り返りをする。
気を付けること	○正解を導き出すのがプログラムのねらいではなく、親子関係や家族関係の在り方を詩や川柳を通してそれぞれが考えようとするのがねらいである。そのことを進行役が理解しておくことが大事である。
方 法	<p>1 子育て川柳や三行詩の空欄部分を考える。 （例題は補助シート参照）</p> <p>①自分で考える。 ②まわりの人に自分の考えを伝える。 ③正解を聞く。</p> <p>2 振り返りを行う。 「やってみてどうでしたか。」と問いかける。</p> <p>3 まとめを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【例】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>中学1年 男子</p> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 60px; margin: 0 auto;"></div> <div style="text-align: center;"> <p>家族できめた 「ただいま」「おかえり」</p> </div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>子育てを考える三行詩や川柳はいろいろあり、考え方も多様であるが、心が温まるものが多い。その詩（子どもの気持ちを知らること）を通して、自分の家庭、親子関係を振り返ってほしい。</p> </div>
備 考 (アレンジ等)	○例示の川柳と同じ気持ちになったこと等、自分の経験と重ね合わせて考える活動を取り入れ、それを全体に紹介し、思いを共有していく方法もある。
他プログラムとの関連	なし

【 あったか家族川柳 ～ことばに込められた思い～】 補助シート

1 「ただいま」 「おかえり」
家族で決めた
愛言葉
中学1年 男子

2 頑張らなくていいからね。
その一言で頑張れたよ、
ありがとう、ばあちゃん
中学2年 男子

3 少しの 会話
それでも大きな
コミュニケーション
中学3年 男子

4 ホットする
働く母の
置き手紙
中学2年 女子

5 朝、目覚めたら
まずは、「おはよう。」
心のスイッチ。
中学1年 女子

6 父よ
野球をすれば グローブを
勉強すれば 参考書を
タバコを吸えば 鉄拳 をくれた
父よ
あなたは父親の鑑だ
高校3年 男子

7 ありがとう。
その一言で救われる。
ごめんね、
その一言で優しくなれる。

8 家族 っていいな
いつも優しい目で見守ってくれる。
君もうしろを見てごらん。
あたたかい 家族 がまってるよ。

9

「ごめんなさい」

その一言が

言えなかつただけなのに、

そんな自分が

なぜかくやしい。

10

ガンバレ！！ じゃなく、

“がんばったね” に

元気が出た！！

【出典】

- 1～5：平成22年度、「親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール」
三行詩優秀作品（文部科学省、社団法人日本PTA全国協議会）
- 6：平成21年度 みえの子ども応援プロジェクト
一行詩コンクール入賞作品より
- 7：平成22年度人権メッセージ優秀作品より
（熊本県人権同和政策課）
- 8：平成20年度作成人権メッセージ作品集より
（熊本県人権同和政策課）
- 9：平成19年度作成人権メッセージ作品集より
（熊本県人権同和政策課）
- 10：平成18年度作成人権メッセージ作品集より
（熊本県人権同和政策課）